

## 令和5年度 佐賀県GAP研修大会開催要領

### 1 開催趣旨

輸出などの農産物流通現場においてはGAP認証を農産物の取引条件として高める傾向が高まりつつあり、国内でも大手スーパーやコンビニなどが「GAPパートナー」として農産物を取り扱う意向が示されています。

GAPに関する実需者ニーズの高まりに加え、農業経営のリスク管理から、今後とも、持続可能な農業を実現するための手法であるGAPに取り組むことが農業者に求められています。

こうしたことから、GAPに関する理解をさらに深めることで、本県におけるGAP取組の普及と拡大に資する。

### 2 開催日時及び場所

日時 令和6年1月30日(火) 13:30～16:30  
受付開始 13時

会場 「ドゥイング三日月」 ホール  
小城市三日月町長神田 1845 電話 0952-72-1616

### 3 主催 佐賀県GAP推進協議会 (事務局：佐賀県農林水産部農業経営課)

### 4 大会次第

時 間	内 容	備 考
13:30～	1 開会	
13:30～	2 主催者挨拶	
13:35～	3 情勢報告「GAP農産物流通の現状と将来像」 福岡大同青果株式会社野菜第2部 部長 椿 知悟 氏	農林水産省GAPパートナー登録
14:00～ 14:40	4 国際水準GAP認証取組事例紹介 ① 大規模経営体の国際水準GAP認証取得 (株)フェルマ木須 代表取締役 木須栄作 氏 ② JAおおいたにおけるJGAP団体認証取得の取組 大分県農業協同組合営農支援部 営農企画課 係長 米田明史 氏	
(休憩 5分)		
14:45～ 16:25	5 基調講演 なぜGAPが必要か ～消費者意識の変化と持続可能な農業の実践～ 一般社団法人 日本生産者GAP協会 理事長 田上隆一 氏	
16:25～	6 GAP認証支援等関連事業の概要等について	事務局
16:30	7 閉会	

### 5 参集者

農業者 (JA 生産組織代表、農業生産法人、GAP 認証農場等)、市町、農産物等流通関係、農業教育機関、GAP 指導員 (JA 及び農業振興センター)、農業協同組合、関係機関 (県関係機関、農業会議、農業公社) 等